



ピンボケ会

「天高く」 撮影 / 和田 英敏

残り世をなほも邁進春日差
物忘れ夫婦で笑ひ木の葉風

本選

奥琵琶を兵站として帰る鴨

春の日の少年の憂き壁ボール

檻の鶴しきりに啼きて送りけり

特選

俳句会 (三月例会)

郵送俳句会
大庭土筆選

花田ムツ子
原口 孝子
畑江 秀文
野上マチ子
摩治 廣子

短歌会 (四月例会)

キム・英子・ヨンジャ選

雛飾り五人囃子の笛太鼓笛は人形の口に届かず

横向きに干されし大根五本ありたくあんめざし西風うける

間に合ふかうなぎのはねる看板の店でかつこむ白秋祭に

われ「濃厚接触者」看護師の武装に個室の景色が変はる

藤川 峯男
井上あつ子
金田トシ子
神崎 鈴子

3月
30日

吉隈保育所が4月1日より民営化

吉隈保育所の4月からの民営化に伴い、移管先となる社会福祉法人明見会に対し、桂川町より、保育所建物や備品などの無償譲渡契約にかかる物件引渡書が交付されました。明見会の細川 義朋理事長は



「桂川町で子育てをしたいと思う人が一人でも増えるように、更なる保育サービスの充実に向け、職員一同取り組んでいきます。」と話されました。

▲社会福祉法人 明見会 細川 義朋 理事長【写真中央】と
吉隈保育園 細川 了 園長【写真右】

4月
12日

桂川町立学校教職員合同研修会

桂川町住民センターにて、町内の幼稚園及び小中学校教職員を対象に「町づくり構想」や「教育方針」等の講話をきくとともに、本年度の子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成に役立てる事を目的とした合同研修会が開催されました。井上町長からは「まちづくりの課題と取り組み」の講話、大庭教育長からは「未来を担う子どもたちのために」の講義が行われ、桂川町の子どもたちの未来のために一同気持ちを新たにしました。



▲講話を行う井上町長

編集＊後記 Editorial Postscript

▶例年より少し肌寒く感じる4月、皆さまいかがお過ごしでしょうか。4月は始まりの月であるとはよく言われますが、自分にとっても大きな転換の月となりました。申し遅れましたが、新しく広報を担当いたします秋本祐也と申します。まさか自分が広報を担当することになるとは全く予想しておらず、また業務の内容も今まで経験したことのない未知の領域であり、瞬く間に時間が過ぎていく感覚でした。

広報係担当として必須であろうカメラの撮影技術や、広報係としての心構え等々、至らぬ点を挙げれば枚挙に暇がない身ではありますが、出来得る限り精進して参りますので、今後ともどうか皆さまよろしく願いいたします。(秋本 祐也)